学校だより
一ノ宮
鈴鹿市立一ノ宮小学校
発行者　江藤　健一
2020(令和2)年10月8日

はなれていても　みんなの心一つにがんばろう！

１０月１日に運動会を実施しました。今年は，新型コロナウイルス感染症対策を行う中での開催でした。「全校でいつものような運動会がしたいな。」そんな声も聞こえてきましたが，そうした中，子どもたちは当日に向けて，一生懸命練習に取り組んでいました。また，児童会は運動会のスローガンを「はなれていても　みんなの心一つにがんばろう！」と決め，競技や演技をする時間は違っても，全校が心を一つにして今年の運動会を成功させようと盛り上げてくれました。

当日，子どもたちは，これまでの練習の成果を発揮し，全力で競技や演技に取り組めたのではないかと思います。緊張感，そして充実感を味わったのではないでしょうか。

保護者の皆様には，子どもたちの健康管理をしていただきありがとうございました。また，来観者数の制限につきましてご理解とご協力をいただきありがとうございました。

あいうえおどろう！いい感じ
（１・２年生）

全集中　一ノ宮　舞の呼吸
（３・４年生）

ＹＥＬＬ～仲間とともに～
（５・６年生）

徒競走スタート
（５・６年生）

1　みえスタディ・チェックの結果から

１学期末に，４・５年生を対象に「みえスタディ・チェック」を実施しました。今年度は中止となった６年生対象の学力学習状況調査と同じように，結果を分析し，次の指導に生かしていきたいと思います。以下に結果と分析，今後の取組をお知らせします。

【結果と分析】

平均正答率でみますと，４年生は算数が県の平均を上回っていましたが，４年生の国語・理科，５年生の３教科は下回りました。

国語では，これまでの学力学習状況調査をもとに「書く」ことに焦点をおいてきた結果，記述問題に対して一定の成果が見られました。しかし，文の読み取りや基本的学習事項である漢字の読み書きの定着に課題が見られました。

算数では，記述問題に対しての一定の成果が見られました。しかし，例えば１８０度以上の角度の読み取りなど，これまでの学力学習状況調査で「つまづきポイント」として定着を図ってきた問題について依然として課題が見られました。

理科では，実験したことをもとに考察し，分析するといった力は少しずつ育ちつつあるものの，学習したことを似たような場面で適用できないなどの課題が見られました。

また，各教科とも無回答率が高かったです。これは，理解の問題もありますが，同時に粘り強く学習に取り組む力やあきらめない力の育成も課題となります。

【今後の取組】

国語では，「～です。なぜなら～だからです。」等の基本的な話型を活用して，基本的な話す力・書く力を育成します。また，漢字の復習プリントを定期的に使用したり，マイ辞書を活用したりして漢字の定着を図ります。また，読書活動への意欲が高まるような取組を行っていきます。

算数では，自分の考え（図・テープ図・線分図等）をノートに書き込ませることで，考えの可視化を図っていきます。また，記述力を育てるために，モデル文をもとに記述する活動を行っていきます。

理科では，授業のまとめの際に，穴埋め式にしたり，キーワードをもとにしたりして考察を書く機会を確保していきます。

2　家庭学習チェック週間の取組についてのお願い

１０月１９日（月）から１０月２５日（日）までを，家庭学習チェック週間とし，チェックシートの取組を行います。今年度の６年生の学習状況アンケートの結果，家庭学習の時間が少ないという課題が明らかになりました。今回配布させていただくチェックシートを家庭学習や家庭生活の見直しに活用していただければと思います。１０月２６日（月）に担任に提出してください。